

総合人間学会 第15回研究大会

Japan Association of Synthetic Anthropology

—シンポジウムテーマ—

人新世とAIの時代における

人間と社会を問う

会長：尾関周二 / 実行委員長：中村俊 / 大会長：古沢広祐

2021年6月19日(土)～20日(日) (オンライン大会)

プログラム

◆1日目(6月19日)

11:00～12:00	12:05～13:05		13:30～15:35		16:00～18:00
総会	小林先生を偲ぶ会	休憩	シンポ第一部	休憩	シンポ第二部

◆2日目(6月20日)

9:30～12:05		12:35～14:30		15:00～17:00
一般研究発表第一部	休憩	一般研究発表第二部	休憩	ワークショップ

一般研究発表タイムテーブル(敬称略)

第一部	9:30～10:05	10:10～10:45	10:50～11:25	11:30～12:05
A会場	砂子・福田	岡部光明	岩田好宏	鈴木伸国
B会場	倉本宣・Wu Ximei	竹ノ下祐二	竹中信介	宗川吉汪
第二部	12:35～13:10	13:15～13:50	13:55～14:30	—
C会場	楊逸帆	前島康男	野口友康	—

ワークショップ(敬称略)

会場およびテーマ	15:00～17:00		
企画α 新反動主義にどう対抗し得るか	佐藤竜人	本多俊貴	—
企画β アジアの中の日本女性	井上直子	楊佳嘉	蔭木達也

大会参加費

無料

[細目]

1. シンポジウム (6月19日 13:30~18:00)

テーマ：人新世と AI の時代における人間と社会を問う

司会：中村 俊 (東京農工大学名/脳科学)
河野貴美子 (国際総合研究機構/脳科学)

シンポジウム趣意説明 (13:30~13:35)

第一部 問題提起

第1報告 (13:35~14:15)

やがて Citizenship-Rated Society をもたらず Learning Crisis のために
—人新世としての Covid-19 Crisis と DX 化する社会—
柴田邦臣 (津田塾大学/社会学・福祉情報論・インクルーシブ学習論)

第2報告 (14:15~14:55)

人新世における人間——高度情報社会と AI 化のなかで
大倉 茂 (東京農工大学/哲学、倫理学)

第3報告 (14:55~15:35)

人新世と AI の時代における脱成長
中野佳裕 (早稲田大学/社会哲学、開発学、平和研究)

休憩 (25分)

第二部 総合討論

報告要約 (16:00~16:15)

指定討論 (16:15~16:30)

AI 時代における知の変容と「合意の知」の価値
佐貫 浩 (法政大学/教育学)

自由討論 (16:30~18:00)

2. ワークショップ (6月20日 15:30~17:30)

企画α

テーマ：新反動主義にどう対抗し得るか

司会：大倉 茂 (東京農工大学/哲学、倫理学)

第1報告：オルタナ右翼とフェミニズム——新しい物質主義に着目して

佐藤竜人 (東京大学大学院総合文化研究科博士課程/政治理論)

第2報告：グリーン・ツーリズムの観光的転換に関する一考察

——「農泊」政策と実践地域の乖離的状况——

本多俊貴（拓殖大学非常勤講師／社会学）

企画β

テーマ：アジアの中の日本女性

—— 1920-1930年代におけるその生と思想の軌跡 ——

司会：蔭木達也（慶應義塾大学／社会思想史）

第1報告：1920～1930年代初頭の愛国婦人会における「勤儉」意識の涵養

井上直子（足利大学ほか非常勤講師／女性史・ジェンダー史）

第2報告：『輝ク』における中国表象 —— 『女人芸術』との比較を通して

楊 佳嘉（YANG JIAJIA）（名古屋大学人文学研究科博士候補研究員）

第3報告：高群逸枝における「日本」

—— 1924年「排日問題」から34年「日本精神」に至るまでの展開 ——

蔭木達也（慶應義塾大学／社会思想史）

コメント

柳沢遊（慶應義塾大学／経済史）

3. 一般研究発表（6月20日9：30～15：05）

（一人当たり35分：発表25分、質疑10分／入れ替え・準備5分）

第一部（9：30～12：05）

A 会場

座長：北見秀司（津田塾大学／哲学、社会思想史）

関 陽子（長崎大学／環境哲学）

A-1. 「人間とは何か」をモデルによって答える：現象学的視点から

砂子岳彦（常葉大学／科学基礎論）

福田鈴子（常葉大学／多文化共生）

A-2. 人間の社会的つながりと利他性：主流派経済学の盲点

岡部光明（慶應義塾大学／経済学）

A-3. 野生世界と人間世界

岩田好宏（本学会理事／生物教育）

A-4. 人間概念における平等概念の意義

鈴木伸国（上智大学／哲学的人間学）

B 会場

座長：亀山純生（東京農工大学／日本思想史）

福井朗子（いわき短期大学／環境思想）

B-1. コロナ禍で顕在化した都市緑地における市民と自然の関係

倉本 宣（明治大学／生態工学、保全生態学）

Wu Ximei（明治大学大学院農学研究科／都市生態）

B-2. 人類史的観点からコロナ禍における「新しい生活様式」を考える

竹ノ下祐二（中部学院大学／霊長類学）

B-3. 人新世の時代に自然観を問いなおす

—総合人間学の提唱者・廣池千九郎の自然観を手がかりに—

竹中信介（道徳科学研究所／比較文明学）

B-4. 3・11 原発事故が明らかにしたこと

宗川吉汪（生命生物人間研究事務所／生命科学）

休憩（30分）

第二部（12：35～14：30）

C 会場

座長：太田 明（玉川大学／教育学）

田中昌弥（都留文科大学／教育学）

C-1. ラーニング・バイ・ケアイング（Learning by Caring）

——教育における配分依存から互惠共生への試み——

楊逸帆 アドラー・ヨウ（雫穿大学・青醒人共生文化智庫／教育社会学・システム論）

C-2. 秋葉原無差別殺傷事件に関する一考察

—主に「教育家族」の「よい子」に視点を当てて—

前島康男（東京電機大学／教育学）

C-3. リスク論の視点からとらえた予防接種施策

野口友康（NPO 法人予防接種被害者をささえる会／人間の安全保障）

【お問い合わせ先】

※例年とは異なり、オンライン大会専用のメールアドレスを開設しています。大会に関するお問い合わせは、下記アドレスをお願いします。

◆オンライン大会運営チーム（代表 大倉茂）

(E-mail) sogotaikai2021@gmail.com

以上